

本調査のサマリー

- ✓ 犬・猫ともに飼い主の半数以上が、外出中のペットの様子が気になると回答
- ✓ 男性よりも特に女性の方が、外出中のペットの様子に対して関心が高い
- ✓ 犬は約6割、猫は約8割が外出中にペットの移動範囲を制限していないと回答

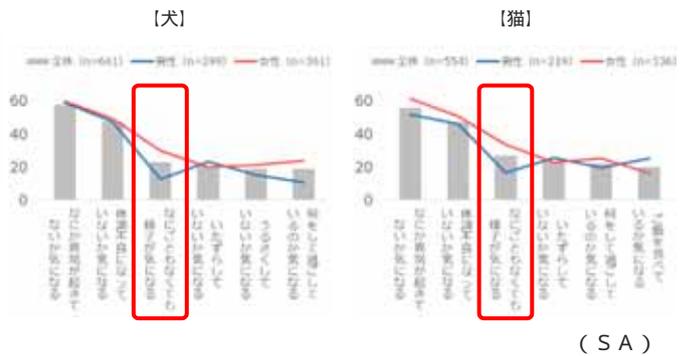
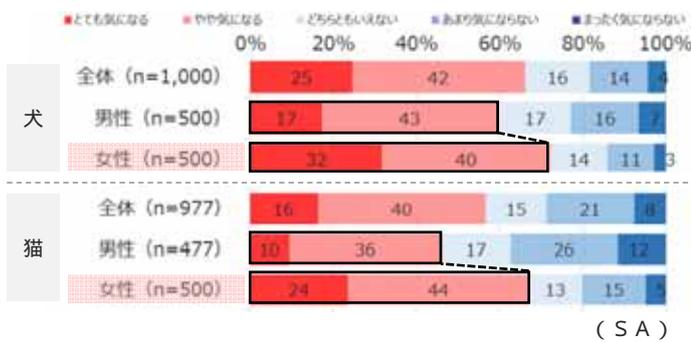
Q. 外出中のペットが気になりますか？ ~ 気になる場合の理由 ~

外出中ペットの様子が気になるのは女性に多い

- ✓ 外出中にペットの様子が気になる方は犬・猫の飼い主ともに半数以上
- ✓ 犬・猫ともに女性の方が男性に比べ外出中のペットに関心が高い傾向

特に何もなくてもペットが気になるのは女性

- ✓ 外出中に気になる理由の上位は、ペットの体調や異常の有無
- ✓ 特に何もなくても、ペットの様子が気になるのは女性



Q. 外出する際、ペットをどのように過ごさせていますか？

- ✓ 外出中にペットの移動範囲を制限していない犬の飼い主は約6割、猫の飼い主は約8割。猫よりも犬の方が移動範囲を制限している飼い主が多い傾向
- ✓ ケージやサークルの利用は主に犬の飼い主に多く見られ、ペット専用部屋を設けている割合もやや犬の飼い主の方が多く傾向
- ✓ 飼育している犬・猫の年齢が高くなるにつれ、移動範囲を制限せずに家の中を自由に行き来させている傾向



## 調査概要

調査手法	インターネット調査
調査地域	1都3県（東京都・埼玉県・千葉県・神奈川県）
サンプル数	全体 犬の飼い主1,000s、猫の飼い主1,000s（実際の収集数は977s） 上記に加え、独身とDINKSについて男女それぞれ100sを確保できるよう追加収集（犬・猫飼い主同様）
調査対象者条件	20～69歳の男女で以下の条件を満たす ・学生ではない ・犬または猫のどちらかを室内で飼育している ・現在飼育している犬や猫の世話に関与している
ウェイトバック集計手順等	性年代(10歳刻み)の構成比は、総務省統計局の人口推計（2013年10月1日現在）に準じ集計 さらに今回の調査におけるスクリーニングデータから性年代別(10歳刻み)の本調査対象条件該当者の出現率を算出し、その値をウェイトバック集計へ反映
調査期間	2017年6月2日(金)～6月4日(日)